



# American Brass Quintet

## アメリカン・ブラス・クインテット

11/26 月 6:30 p.m.

昭和女子大学・人見記念講堂

S-3000 A-2500 (朝日メイトS-2000 A-1500同時入会申し込み可)

ヴェネツィアのカンツォーナとリチャード・カーレ  
Venetian Canzoni and Ricercare

エリザベス朝の音楽  
Elizabethan Consort Music

ダンス D・スノウ  
Dance Movements David Snow

戦いのガリヤルド S・シャイト  
Battle Gaillard Samuel Scheidt

コントラ punctus 第3番、第7番“フーガの技法”より J.S. バッハ  
Contrapunctus 3 and 7 J.S. Bach

金管楽器のための音楽 I・ダール  
Music for Brass Instruments Ingolf Dahl

アメリカ組曲 G・W・E フリードリッヒ  
Americana Suite G.W.E. Friedrich

12/3 月 6:30 p.m.

五反田・簡易保険ホール

エリザベス朝の舞曲による組曲 A・ホルボーン  
Suite of Elizabethan Dances Anthony Holborne

金管五重奏曲 第1番 変ロ短調 Op.5 V・エヴァルド  
Quintet No. 1 in B Flat Minor, Op.5 Victor Ewald

小組曲 W・ラブロック  
Miniature Suite William Lovelock

雷神 J・P・スーザ  
The Thunderer March John Philip Sousa

カスケーズ S・ジョップリン  
Cascades Scott Joplin

故郷の人々(スワニー河) S・フォスター  
Old Folks at Home Stephen Foster

“ブラス・バンド・フェーバリッズ”  
Brass Band Favorites

他

主催/昭和女子大学 朝日友の会 神原音楽事務所 後援/アメリカ大使館/テレビ朝日/朝日イブニング・ニュース社/(社)全日本吹奏楽連盟/朝日新聞社  
協賛/ピクター音楽産業株 お問い合わせ/朝日友の会 03(545)8348-9348 神原音楽事務所 〒107 東京都港区赤坂9-2-14-101 03(403)8011(代)

ショット 03-237-9990 各プレイガイド前売中



## 洗練と妙技にみちた演奏への期待

藤田 由之

今でこそ、金管楽器によるアンサンブルといつても、それほどめずらしいことではなくなってきているが、1968年にアメリカン・プラス・クインテット(アメリカ金管五重奏団)が初めて来日した頃には、それは、まだ未知といつてもよいようなジャンルに属していた。それだけに、それへの期待はきわめて大きかったが、実際に、かれらの演奏は、その期待を大きく上まわり、それまでの金管楽器というものに対する一般的な概念をくつがえしたといつてもよいほどの驚異と興奮とをよびおこしたものであった。そこでは、5本の金管楽器が、個々の楽器のもつ機能と特色とをフルにいかしながら、アンサンブルとしても完璧といえるような密度の高さをしめし、音色的にも柔軟性にみちた融合をみせていた。金管楽器だけによる室内楽が、弦や木管のアンサンブルを思わせるような機能とともに、また他の楽器では得られない特色を聴かせてくれるということは、ある意味で予想をこえたことでもあった。その後、金管楽器によるアンサンブルも、いくつかがわが国を訪れるようになったが、このアメリカン・プラス・クインテットもまた、一昨年になって再び来日した。すでにメンバーに交代があったとはいえ、かれらは、たんに初来日の際の水準を維持していたばかりでなく、一だんとそのアンサンブルの密度と個性とを高めたものとなっていたのである。

このアンサンブルの特徴は、そのレパートリーにもある。かれらは、16、7世紀前後の古い時代の音楽と、このジャンルのために書かれた現代の作品とをその中心におき、たんなる娯楽性をこえて、金管楽器による室内楽の醍醐味を味わわせてくれる。1957年に創設されて以来、かれらは、一貫してアメリカの金管室内楽のジャンルをリードしてきたばかりでなく、何人かの作曲家たちに新たな作品をも生みだしてきた。それらは、いずれも、アメリカの最も注目すべきプラス・アンサンブルがもつヴァーテュオシティ(名技巧)に対する無上の讃美ともいえるが、かれらもまた、それらを通じて金管楽器のもつ表現力を、極限まで明らかにしてくれるのである。

そのアメリカン・プラス・クインテットが、今回は、時を経ずして三たびわが国を訪れるという。洗練と妙技にみちたかれらの演奏に接する喜びと期待も大きいが、それが、日本のこのジャンルに少なからぬ影響を与えることもまちがいあるまい。

最新デジタル録音  
日本よりの特別企画

アメリカン・プラス・クインテット来日記念盤 11月21日発売

DIGITAL  
RECORDING

CD LP  
SAME TIME

CD、LP同時発売

アメリカの息吹き、いきいきと!! ブラス・ミュージックの楽しさ極まる!!

草競馬★アメリカン・プラス

ある日の草競馬(フォスター) / ラブソディ・イン・ブルー(ガーシュウィン) / ワシントン・ポスト(スーザ) / 他全16曲 レコード番号、価格未定

Victor